

## 第10回 WEB版 マタニティ教室・もうすぐパパママ教室

### テーマ：赤ちゃんとの生活③ ～事故防止編～

#### 事故を防ごう！

##### ★「赤ちゃん目線」でお部屋の点検

幼児期から小学生にかけて、子どもの死因の第1位は「不慮の事故」です。内容は年齢によって特徴がありますが、ほとんどが親さんが注意してもらうことで防げます。どんな事故が起こりやすいかを知って、身の回りを「赤ちゃん目線」で再点検しましょう。



#### ねんねのころ

窒息：ひもやコード類、ビニール袋などを赤ちゃんのそばに置かない！

自動車事故：必ずチャイルドシートを使いましょう。

転落：ソファなどに寝かせず、ベビーベットの柵は上げておきましょう！

#### 寝返り・はいはいが始まると

誤飲：タバコや化粧品などをまちがって飲み込む事故が非常に多くなります。危険なものは、手の届かないところに片付けましょう。

窒息：直径3.9cm以下のものはすべて危険です。ペットボトルのふた・ゴルフボールなども入ってしまいます。

やけど：ストーブやアイロンを触ったり、テーブルクロスをひっぱって、熱い料理をかぶってしまうことがあります。

転落：階段・段差があるところには柵をつけたりして、ひとりで出て行かないように配慮しましょう。

異物を飲んでしまったとき（日本中毒情報センター110番）

大阪 072-727-2499（無料）

365日 24時間対応

つくば 029-852-9999（無料）

365日 9～21時対応

<通話料は相談者の負担となります>

※化学物質（タバコ・家庭用品 etc）医薬品、動植物の毒などによって起こる急性の中毒について情報を提供しています。異物誤飲（石ころ・ビー玉など）や食中毒、慢性の中毒（アルコール・シンナー中毒など）や常用量の医薬品の副作用については受け付けていません。

## 乳幼児揺さぶられ症候群

### ★乳幼児揺さぶられ症候群とは？

赤ちゃんが何をしても泣き止まない時などに、イライラして赤ちゃんを激しく揺さぶり(1秒間に3~4回)、赤ちゃんの脳が損傷することを言います。

赤ちゃんは、からだに対して頭が重く、首の筋肉が発達していないので、揺さぶられると頭が大きく前後に振られ、頭蓋骨の内側に脳がぶつかり、血管が切れるなど脳が損傷します。脳の損傷によって、重大な障害を負うことや、場合によっては死に至ることもあります。

万一揺さぶった場合には、すぐに医療機関を受診しましょう。

## 乳幼児突然死症候群

### ★乳幼児突然死症候群とは？

それまで元気だった赤ちゃんが何の前ぶれもなく眠っている間に突然亡くなってしまうこと。生後2~6か月に多く、原因はまだわかっていない。しかし、以下の点に留意することで、発症のリスクを低減することができます。

#### うつぶせ寝はNG

うつぶせに寝かせた方が、あお向けに比べて乳幼児突然死症候群の発症率が高いことが報告されています。赤ちゃんを寝かせるときには、あお向けにして寝かせましょう。

#### タバコはNG

タバコは発症の最大の危険因子です。両親がタバコを吸う場合、両親とも吸わない場合の4.7倍発症率が高いという報告がありますので、家族はもちろんのこと、赤ちゃんの周囲の人への理解と協力も不可欠です。

※人工乳が乳幼児突然死症候群を引き起こすわけではありませんが、母乳で育てている赤ちゃんの方が発症率が低いことが明らかになっています。

